



鶴見区制 90 周年を記念し、鶴見区の歴史を振り返ります。鶴見区は、江戸時代に旧東海道を往来する人々によって街道筋が賑わい、明治時代から埋め立てが進み京浜工業地帯の中核として発展するなど、多様性に富んだ歴史から成り立っています。また、歴史的な出来事だけでなく、地域の発展や文化の継承、多文化共生等、地域のために尽力した多くの人々の活動も鶴見区の歴史の中で重要な役割を果たしてきました。これらを踏まえ、様々な視点から鶴見区の歴史を紐解いていきます。

1 年表

年	月	できごと
建久元年 (1190年)		源頼朝、上洛 鴨志田十郎、馬場次郎、寺尾太郎、寺尾三郎太郎などが随行したことが『吾妻鏡』に記されている(平安時代末期)
承久3年 (1221年)		承久の乱 戦傷死者の中に潮田四郎太郎、潮田六郎、寺尾又太郎、寺尾左衛門尉などの名前が『吾妻鏡』に記されている
元弘3年 (1333年)		新田義貞挙兵、鶴見合戦おこる
建武元年 (1334年)		『松蔭寺古図』作成(室町時代)
永享8頃 (1436年)		諏訪氏が寺尾城を築城
慶長5年 (1600年)	10月	関ヶ原の戦い
6年 (1601年)		五街道整備、鶴見橋(現鶴見川橋)架設
16年 (1611年)		二ヶ領用水完成
嘉永6年 (1853年)	6月	ペリー来航
安政6年 (1859年)	6月	横浜開港(6月2日開港記念日)
文久2年 (1862年)	8月	生麦事件おこる
明治5年 (1872年)	9月	新橋・横浜間鉄道開通、鶴見駅開業
22年 (1889年)	4月	市制施行(人口116,193人) 市制施行に併せて、鶴見地域に旭村、生見尾村(後の鶴見町)、町田村(後の潮田町)誕生
38年 (1905年)	12月	品川・神奈川間に京浜電鉄(現京浜急行)開通、鶴見停留所(現京急鶴見駅)開業
44年 (1911年)	11月	曹洞宗大本山總持寺 鶴見に移転
大正2年 (1913年)		浅野総一郎、鶴見海岸の埋立に着手
3年 (1914年)	5月	平岡廣高、日本初の児童遊園地「鶴見花月園」を開園
12年 (1923年)	9月	関東大震災発生
14年 (1925年)	4月	鶴見町(旧生見尾村)と潮田町(旧町田村)が合併、鶴見町となる
15年 (1926年)	3月	鶴見線の前身「鶴見臨港鉄道」開通
	11月	第一京浜国道(現国道15号)全線開通
昭和2年 (1927年)	4月	鶴見町、旭村(現在の神奈川区・港北区の一部)が横浜市に合併
	10月	横浜市の区制施行により鶴見区(当時の人口62,446人)誕生(鶴見・神奈川・中・保土ヶ谷・磯子の5区)
3年 (1928年)	6月	横浜市電子安線生麦～金港橋間開通
18年 (1943年)	7月	私鉄鶴見臨港鉄道が国に買収され、国鉄鶴見線(現JR鶴見線)になる
20年 (1945年)	4月	鶴見の大空襲で12,400余戸焼失
	8月	終戦
21年 (1946年)	11月	児童遊園地「鶴見花月園」閉園
25年 (1950年)	5月	花月園競輪場開場
29年 (1954年)	4月	三ツ池公園、県立公園に指定
31年 (1956年)	9月	横浜市、政令指定都市に指定
33年 (1958年)	3月	第二京浜国道(現国道1号)全線開通
	9月	台風22号で鶴見川氾濫 家屋水没648世帯、床上浸水14,000戸
38年 (1963年)	11月	国鉄鶴見事故161人死亡
41年 (1966年)	8月	横浜市電生麦線廃止
42年 (1967年)	5月	鶴見川、1級河川に指定



▲ 東海道之内鶴見 2代広重
文久3年(提供:鶴見神社)



▲ 總持寺中雀門建設予定地(明治43年)
(写真提供:鶴見歴史の会)



▲ 京浜工業地帯(昭和47年)

年	月	できごと
昭和 44 年 (1969 年)	5 月	「鶴見会館」開館
50 年 (1975 年)	4 月	獅子ヶ谷市民の森開園
52 年 (1977 年)	10 月	区制 50 周年 人口 237,678 人 (『鶴見区史』編纂)
55 年 (1980 年)	1 月	鶴見図書館開館
	12 月	末吉地区センター開館 (鶴見区第 1 号)
60 年 (1985 年)	10 月	鶴見公会堂開館
61 年 (1986 年)	3 月	鶴見駅西口市街地改造事業完了 (本市施行の初の再開発事業)
62 年 (1987 年)	10 月	区制 60 周年 人口 243,751 人 (『鶴見の歴史と人々の暮らし』編纂)
63 年 (1988 年)	1 月	鶴見区新総合庁舎完成、鶴見区マスコット「ワックン」制定
	11 月	「横溝屋敷」横浜市指定文化財第 1 号に指定
平成 元年 (1989 年)	9 月	ベイブリッジ・スカイウォーク完成
2 年 (1990 年)	6 月	上寺尾小学校コミュニティハウス (鶴見区第 1 号) 開所
	7 月	大黒ふ頭埋立完成
3 年 (1991 年)	2 月	鶴見区のシンボルマーク制定
	11 月	区民の花 (サルビア) 決定
6 年 (1994 年)	5 月	鶴見駅西口行政サービスコーナー設置 潮田交流プラザ (国際学生会館・地区センター・地域ケアプラザ (鶴見区第 1 号)・ふれあいショップ PORT) 開館
	12 月	鶴見つばさ橋開通
7 年 (1995 年)	4 月	環境事業局鶴見工場本格稼働
8 年 (1996 年)	7 月	大黒海づり公園開園、高齢者保養研修施設「ふれーゆ」オープン
9 年 (1997 年)	5 月	入江川せせらぎ緑道開通
	10 月	区制 70 周年 人口 250,883 人 (『鶴見懐かしの写真集』を編纂・出版)、区の木 (サルスベリ) 決定
10 年 (1998 年)	10 月	中途障害者地域活動センター「ふれんどーる鶴見」開所
11 年 (1999 年)	7 月	馬場花木園開園
	10 月	福祉保健活動拠点開設
12 年 (2000 年)	4 月	理化学研究所横浜研究所発足
	5 月	特別養護老人ホーム「新鶴見ホーム」開所
	11 月	障害者地域活動ホーム「幹」開所
	12 月	「馬場赤門公園」開園
13 年 (2001 年)	3 月	「横浜市産学共同研究センター」開設
	4 月	「横浜市立大学大学院 (連携大学院)」開校
14 年 (2002 年)	1 月	福祉保健センター開設
15 年 (2003 年)	4 月	横浜新技術創造館「リーディングベンチャープラザ」開館
16 年 (2004 年)	4 月	国道 357 号開通
18 年 (2006 年)	1 月	「ゆうづる」(鶴見市場地域ケアプラザ・鶴見市場コミュニティハウス) 開所
19 年 (2007 年)	3 月	東部地域中核病院「済生会横浜市東部病院」開院
	5 月	鶴見中央地域ケアプラザ開所
	10 月	区制施行 80 周年 人口 267,447 人 (『つるみみやげ』制定)
21 年 (2009 年)	4 月	横浜サイエンスフロンティア高等学校開校
22 年 (2010 年)	3 月	花月園競輪場閉園
	11 月	「鶴見会館」閉館
	12 月	鶴見国際交流ラウンジ・鶴見中央コミュニティハウス開館
23 年 (2011 年)	3 月	区民文化センターサルビアホール開館、鶴見駅東口地区第一種市街地再開発事業完了
24 年 (2012 年)	1 月	生麦地域ケアプラザ開所
	4 月	福島県棚倉町、西会津町と友好交流協定書を締結
	11 月	鶴見駅 駅ビル「CIAL 鶴見」開業
25 年 (2013 年)	2 月	石川県輪島市と友好交流協定書を締結
	4 月	鶴見駅西口第二自転車駐輪場オープン (1,000 台を収容)
27 年 (2015 年)	2 月	馬場地域ケアプラザ開所
	8 月	二ツ池公園一部公開
	11 月	鶴見駅東口駅前広場整備完了
29 年 (2017 年)	3 月	横浜北線開通
	10 月	区制施行 90 周年



▲ 鶴見駅東口 (昭和 50 年代)
(写真提供: 鶴見歴史の会)



鶴見区のシンボルマーク



鶴見区のマスコット
ワックン



▲ 理化学研究所横浜キャンパス
(写真提供: 理化学研究所)



▲ 青少年育成サイエンス交流事業
主催: 鶴見区役所・横浜サイエンスフロンティア高等学校
(※写真は平成 28 年度の様子)



▲ 横浜北線開通記念イベント
(平成 29 年 3 月 11 日)